

■ OnAir 3000 ユーザーレポート

中部日本放送株式会社 様

OnAir 3000



東京支社ラジオスタジオにOnAir 3000を採用



中部日本放送株式会社
ラジオ局 編成制作部
奥野 賢司

はじめに

09年2月、CBC東京支社ラジオスタジオの更新を行いました。これまでCBCラジオでは本社を含めオンエアスタジオから編集スタジオまで全てアナログ卓を使用してきました。今回の更新にあたり慣れ親しんだアナログ卓も検討しましたが、OnAir 3000は導入実績も豊富であることから安定動作が期待でき、操作部は機能を制限してしまえばアナログ卓以上に容易（逆に制限をかけなければ細かな音の作り込みも可能）、そしてアナログ卓に比べコスト面での有利さも大きな魅力となり今回の採用となりました。



特殊なアナログ卓

今回、OnAir 3000を導入するにあたり一番頭を悩ませたのは「どれだけこれまでのアナログ卓の使用感に近づけることができるか」ということでした。なぜその必要があるのか。それは東京スタジオには技術スタッフが常駐せず、また前述の通りデジタル卓を導入するのが初めてで、主に使用することになるディレクターや制作会社の方もデジタル卓を使用したことが無かったためです。今までのアナログ卓に近づけるためカフの動作や再生機器のリモート制御などを検討していると、CBCラジオがとて特殊な仕様の音声卓を使ってきたことを痛感させられました。どうもCBCラジオの音声卓の歴史は、できるだけ「誤った音を送り出さない」ように出来ているらしく、担当氏とは「これをこうしないと音が出ないんですけどこれでもいいんでしょうか？」という会話を何度も行いました（笑）。しかしこれらの問題も、OnAir 3000の豊富なGPIOと花岡無線電機様の協力による各種インターフェイスにより解消することができ、これまでのアナログ卓の使用感に近づけることができたのではないかと思います。

本社との打ち合わせ

OnAir 3000は標準で3つのスタジオとトークバックが行える機能を持っています。これを使わない

のはもったいないということで、この機能を使い名古屋本社スタジオと打ち合わせを行えるようにしました。音声回線は本社～東京支社間に常設で設置されているデジタル音声回線を使用できるようにしました。

運用開始

運用開始から数ヶ月経過しましたがこれまでトラブルはまったく無く順調に稼働しています。運用開始前に使用するスタッフを集め使用方法の説明と同時にスタッフ毎のスナップショットを保存したことも功を奏したのか、使用方法に関する相談もほとんどなく現在に至っています。スナップショットのお陰で前回使用者によるバスアサイン等の痕跡が卓に残らないのはいいですね。こんなことに感心するのはデジ卓初心者すぎでしょうか？

最後になりましたが、OnAir 3000の導入に尽力いただきましたスチューダー・ジャパンブロードキャスト様、花岡無線電機様、日東紡音響エンジニアリング様など関係各位様に厚く御礼申し上げます。

